



十西小だより

弥富市立十四山西部小学校

学校だより 第7号

令和3年9月1日



2学期を迎えて

2学期が始まり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。夏休み前に、子どもたちには、チャイムのない日々が続くので、自分で勉強の時間、自分磨きの時間、家族のための時間など、1日の大まかな時間割をつくって過ごすという話をしましたが、長い夏休み、けじめある生活が送れたでしょうか。オリンピック期間中は、連日選手の活躍や大会を支えるボランティアの様子が伝えられました。そして25日からはパラリンピックも始まりました。なりたい自分の目標になる人が見つかるかもしれませんね。

さて、ワクチン接種が進んでいますが、感染者が減らず、厳しい状態が続いています。弥富市においても、児童生徒の感染が数名確認されておりますので、気を引き締め、感染対策を行っていきます。3日～10日までは給食後、14時一斉下校になります。ご家庭におかれましても、換気、手洗い、うがい、買い替えをご検討の場合は、より高性能のマスク（不織布）のご準備など、対策をよろしくお願ひします。

9月は、野外教室、運動会といった大きな行事があります。県から出される措置などにより、取り組み方が変わってきますので、できるだけ早く、実施方法をメールやホームページ、おたよりなどでお伝えするよう努めてまいります。

この厳しい状況を、みんなで協力して乗り切っていきましょう。



防災の日



9月1日は『防災の日』です。そのように決められたのは、以下のとおりです。

9月1日は、関東大震災が発生した日であるとともに、暦の上では二百十日に当たり、台風シーズンを迎える時期にあたります。昭和34年9月26日の「伊勢湾台風」によって、甚大な被害（全半壊・流离家屋15万3,893戸、浸水家屋36万3,611戸、死者4,700人、行方不明401人、傷者3万8,917人）を被ったことが契機となって、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、防災の日が創設されたそうです。政府、地方公共団体など関係諸機関はもとより、広く国民の一人一人が台風、高潮、津波、地震などの災害について、認識を深め、これに対処する心がまえを準備しようというのが、『防災の日』創設のねらいです。

今日という日を、災害の発生を未然に防止し、あるいは被害を最小限に止めるには、どうすればよいかということ、みんなが考え、そのための活動をする機会にしてほしいと思います。

今後の学校行事について

新型コロナウイルス感染防止のため、今後の学校行事の実施は、下記が基本となります。ただし、市教委とも相談しながら、学校独自の判断で決定することもございますので、ご承知おきください。

緊急事態宣言下・・・中止または延期

まん延防止等重点措置下・・・方法を工夫して実施

* 野外活動については、市内全小学校で、宿泊はせず日帰りで実施することとなりました。また、緊急事態宣言下であれば、中止になります。説明会では、延期もありという説明でしたが、施設の予約が取れない状況から、このようにやむを得ず決定しました。ご理解の程、よろしくお願ひいたします。